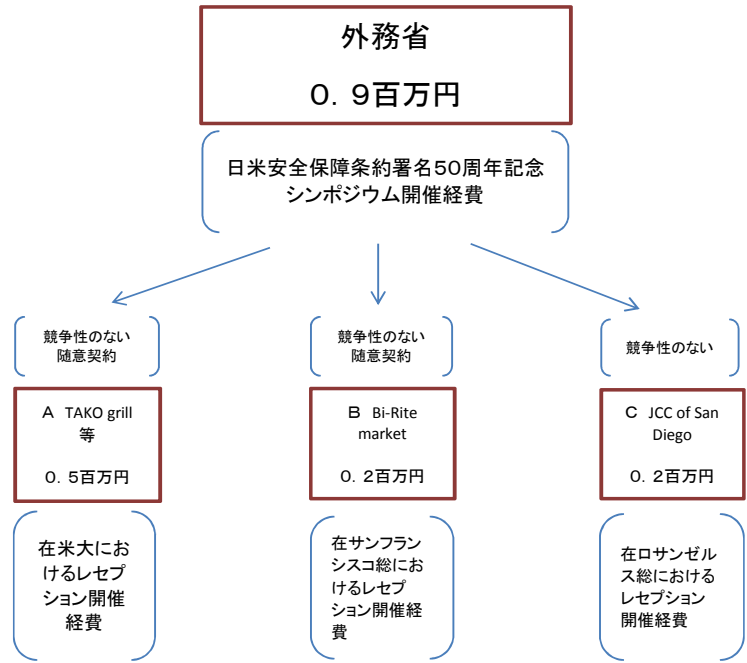


平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	日米安全保障条約署名50周年記念シンポジウム開催経費	担当部局庁	北米局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度のみ	担当課室	日米安全保障条約課	課長 船越 健裕				
会計区分	一般会計	施策名	北米地域外交に必要な経費					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第四条第一項イ	関係する計画、通知等						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	日米安全保障条約に基づく日米安保体制は日米同盟の中核として、日本及びアジア太平洋地域の平和と安全を維持し、日本国民の生命や財産を守るための礎として、戦後、有効に機能してきた。2010年は現行日米安全保障条約の署名及び発効から50年の節目に当たるところ、この機会にこれまでの日米安保体制について振り返り、国民からの信頼と支持を固め、同体制を今後も一層強化していくことが重要である。日米両国において開催する日米安保条約50周年記念関連行事は、両国国民が日米安保体制への理解を深める機会とするものである。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	日米安保体制に関しては、北朝鮮によるミサイル発射や在日米軍再編問題が注目される等、国民の安全保障への関心が高まっている。平成21年の内閣府による調査では、日米安全保障条約が日本の平和と安全に「役立っている」とする者の割合が7割以上となっており、また同年に外務省の委託で行われた米国における対日世論調査でも、全体として良好な対日観、日米関係への高い評価が示された。他方、在日米軍駐留経費負担や在沖縄海兵隊のグアム移転との関連では日本の安全保障に係る財政負担についてその必要性・妥当性を含め様々な意見が見られる。こうした状況を踏まえ、日本の安全保障の根幹をなす日米安保体制を引き続き維持していくためには、同体制への国民からの信頼と支持を固めることが極めて重要である。よって、我が国政府の施策として、日米安保条約50周年の節目に当たる2010年に日米両国においてより多くの民間人を含める形で記念行事等を開催し、日米安保体制の一層の強化に資するものとする必要がある。							
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	-	-	-	-		
		繰越し等	-	-	-	-		
		計	-	-	7	-	-	
	執行額		-	-	0.9			
	執行率(%)		-	-	12.6%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	シンポジウム、記念レセプションへの参加人数	成果実績	人	-	-	945	-	
		達成度	%	-	-	270.0%		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	シンポジウム、記念レセプション開催回数 (米国にある我が方が在外公館3公館において記念レセプションを行った。)	活動実績 (当初見込み)	回	-	-	3 (5)	-	
単位当たりコスト	283,755 (円/公館)		算出根拠	在外公館における記念レセプション開催経費(851,264千円) ÷ 実施公館数(3)				
平成23年度 (単位:千円) 予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	－	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	国内においては本シンポジウムを実施することができなかった。予算要求上では米国内の主要な5都市において記念レセプションを実施する見込であったが、主要3都市に調整し、実施した。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	△	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	国内において本件記念シンポジウムを開催する予定であったが、機会を逸したため、本シンポジウムを実施することができなかった。他方、米国内に所在する我が方在外公館3公館において記念レセプションを実施した。		
予算監視・効率化チームの所見			
		－	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
		－	
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0.0	計		0.0
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0.0	計		0.0
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0.0	計		0.0
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0.0	計		0.0
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0.0	計		0.0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	TAKO grill	ケータリング	0.2	随意契約	—
2	ridgewells	食器借り上げ	0.1	随意契約	—
3	Super H mart	食材	0.05	随意契約	—
4	Accurate Word	招待状印刷	0.05	随意契約	—
5	個人A	ボーイ	0.01	随意契約	—
6	個人B	ボーイ	0.01	随意契約	—
7	個人C	ボーイ	0.01	随意契約	—
8	個人D	ボーイ	0.01	随意契約	—
9	個人E	ボーイ	0.01	随意契約	—
10	個人F	ボーイ	0.01	随意契約	—

B

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	Bi-Rite market	ケータリング	0.2	随意契約	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	JCC of San Diego	ケータリング	0.2	随意契約	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					